

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫した点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			温水プール併設
	②	職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	③	事業所は子どもと保護者が利用しやすいような配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			職員全員で1年間の反省と年間計画を立てている。
	⑤	保護者等に対して事業所の評価を実施すると共に、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			毎年、利用者にアンケートを実施して公表し、改善につなげている。また支援日に必ず振り返り用紙を書いていただき、ご意見を参考にしている。
	⑥	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			発達クリニックばすてるの医師から、アドバイスを受けている。
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	<input type="radio"/>			ぐぐ〜ん研究所のオンライン講座を受け研修を重ねている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			個別支援計画のためのフォーマットを使い子どもの発達の特性を親と話し合い、支援の計画に生かしている。
	⑨	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			児・親・園それぞれの視点を大切に、現状に適したねらいと支援内容にしている。
	⑩	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			週末に、カンファレンスをし、スタッフで次の週の活動を考え合う。
	⑫	活動プログラムの内容の固定化しないように工夫しているか。	<input type="radio"/>			年間計画を立て、それに基づいた、各月/週の内容を工夫している。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動や集団活動を適宜に組み合わせて、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか。	<input type="radio"/>			支援前の他、前日の準備、前月からの計画、準備を行っている。
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			活動後のカンファレンスで、常に振り返りをしながら見直している。
	⑯	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			集団遊びの内容、着席しての課題の内容とその参加の様子、親の話なども記録している。
連携	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	<input type="radio"/>			
	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	<input type="radio"/>			

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標・工夫した点など
関係機関や保護者との連携	⑱	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○			
	⑲	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	㉑	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			学校に向けて、親を通して支援シートを書くことで情報を提供している。
	㉒	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			新潟市児童発達支援センターと連携し、助言を受けている。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			毎回座談会を設けて、情報共有や課題について共通理解を行っている。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか。	○			毎回の座談会で、生活リズムの見直し・ほめる・愛着・就学に向けて等の勉強会を重ねている。
保護者への説明責任等	㉕	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	㉖	児童発達支援ガイドラインに基づき作成された児童発達支援計画を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			半年に1回は見直しの話し合いをしている。
	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			気軽に相談できる体制、必要に応じて別室で個別相談を行っている。子どもたちを見ながらや、子どものいない時間でのゆっくり相談の希望にも応じて行っている。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○			親からの要求に応じて、場所を提供し、保護者会の話し合いに協力している。
	㉙	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	㉚	個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	○			
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		クリニックばすでると組んで色々な年齢層の方、地域の方に開かれた祭りを予定していたが実施できなかった。
非常時等の対応	㉝	非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			例年デイサービス、クリニックばすでると合同で行っているがコロナの関係で単独で年2回行った。
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか。	○			
	㉟	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			幅広く虐待対応について知識を深めるための、話し合いを重ねている。